

# 緊急赤潮情報R5-4

令和5年8月1日

大分県農林水産研究指導センター  
水産研究部北部水産グループ

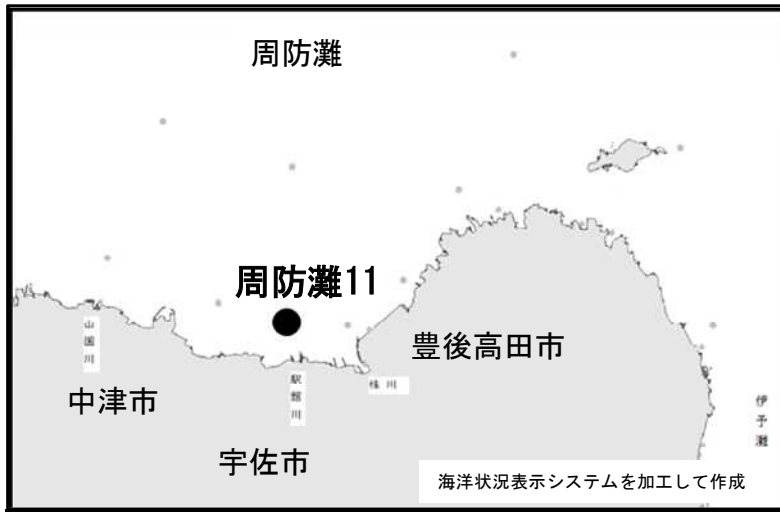
周防灘沿岸にて有害赤潮プランクトンであるカレニア ミキモトイが注意密度を超えて確認されました。

表1 赤潮プランクトン検鏡結果

調査月日	調査場所	調査時間	採水層(m)	水温(°C)	塩分(PSU)	カレニア ミキモトイ(細胞/ml)
8月1日	周防灘11	9:52	B-1	23.1	31.1	213

採水・検鏡：大分県北部水産グループ

カレニア ミキモトイ  
・注意密度  
200細胞/ml  
・警戒密度  
2,000細胞/ml



カレニア ミキモトイは非常に有害なプランクトンです。  
以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

## (カレニア・ミキモトイ赤潮の留意点)

- ①カレニア ミキモトイは、魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ②特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ③本種は赤潮の初期には中・底層で増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すプランクトンです。水色や漁模様の急変など海域監視の強化に努めてください。

## (赤潮発生時の留意点)

- ①特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活けメ出荷等の対策を講じて下さい。
- ②赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。